



令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月23日(木)、6年生を対象に全国学力・学習状況調査を実施いたしました。

6年生が取り組みました国語・算数の教科について、また学校生活や家庭生活についての質問(児童質問)の結果を分析しました。そこから見えしました本校の成果や課題、また今後の取り組みについて以下の通りお知らせいたします。

【同日に実施した「大阪府小学生すくすくテスト」(5・6年生対象)の結果については、来週13日(金)に配布いたします。】

調査の概要

(本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です)

調査の目的	① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。 ② 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。 ③ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
調査の内容	内容：教科に関する調査…国語、算数 質 問 調 査…児童の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

国 語

本校の平均正答率は65%(全国60.9%)でした。

- ◆資料を活用して自分の考えが伝わるように表現を工夫する、などの「話すこと・聞くこと」の領域の問題について、全国平均を10ポイント近く上回りました。自分の考えを伝えるにはどう表現すればいいのかを考える授業に日々取り組んでいます。その成果と捉え、今後も推進してまいります。一方、文章中の言葉を基に考えたことと自分の経験を結び付け、条件に沿って書く、などの「読むこと」の領域については課題がみられました。今後は、心に残った言葉を選び、「なぜその言葉を選んだのか」を伝えたり、自分の考えや経験と結び付けたりする授業づくりを進めます。
- ◆記述式の問題については全国平均を上回り、本校の日ごろから文章を書く取り組みの成果がうかがわれました。また、無回答率も全国平均より少ないことから、書くことに抵抗がなくあきらめずに最後まで取り組もうとする姿勢がうかがわれました。
- ◆「言語の特徴や使い方に関する事項(今回は漢字)」の領域の問題についても、全国平均を上回りました。基礎基本の定着を図る、本校の日ごろの取り組みの成果と捉えます。その問題の一部を紹介いたします。

【問題】 チャレンジしてみませんか(問題文は一部省略しています)

漢 字 ①そでがみじかい ②ふしぎに思い、

正解 漢 字 ①短い (本校正答率 85.4%・全国正答率 80.0%)
②不思議 (本校正答率 56.1%・全国正答率 45.2%)

算 数 本校の平均正答率は59%(全国56.4%)でした。また、全ての領域において、全国平均を上回りました。その中で見えた本校の傾向については以下の通りです。

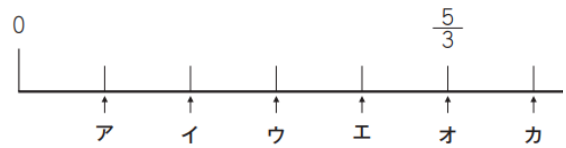
◆基礎的な知識を問う下記のような「数と計算」領域の問題では、全国平均を上回り、基礎基本の定着を図る、本校の日々の取り組みの成果が見られました。

【問題】 チャレンジしてみませんか(問題文は一部省略しています)

・右の数直線で オ の目もりは $\frac{5}{3}$ です。

1を表す目もりはどこですか。

右の ア～カ までの中から1つ選びましょう。



正解 ウ (本校正答率 78.0%・全国正答率 68.1%)

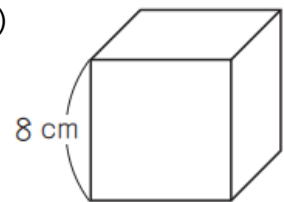
※10ポイント近く全国平均を上回りました。この結果より約80%の児童が、分数の基本について理解できていることがわかりましたが、全ての児童が理解できるよう今後も取り組んでまいります。

◆記述式の問題については、全国平均を上回りました。国語と同様、無回答率も全国平均より少なく、書くことに抵抗がなくなっているとともに、最後まであきらめずに取り組もうとする姿勢がうかがわれました。一方、図や表から必要な情報を見つけ、その情報を結び付けて考える問題については、全国平均は上回っているものの正答率が30%に満たないものもあり課題が見られました。今後は、答えを求めるだけでなく、「なぜその数や方法を選んだのか」を説明し、考えを深める授業づくりを進めてまいります。

◆「図形」の領域の問題についても、全国平均を上回りました。しかし、昨年度も課題であった立方体の体積に関する問題に課題がありましたので、今後も改善を図ってまいります。

【問題】 チャレンジしてみませんか(問題文は一部省略しています)

・1辺が8cmの立方体の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。ただし、計算の答えを書く必要はありません。



正解 $8 \times 8 \times 8$ (本校正答率 65.9%・全国正答率 72.7%)

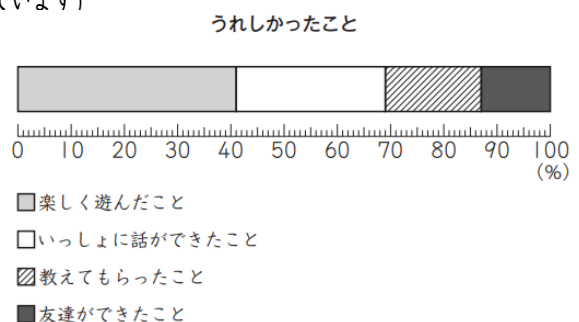
※基礎的な問題ですが、全国平均を大きく下回り、全体の1/3の児童が間違っていました。(そのうち「 8×8 」と解答している児童が17%、無回答が10%でした。結果をもとに、改めて分析を行い、改善を図ってまいります。)

◆「データの活用」の領域についても全国平均を上回りました。特に、与えられた条件をもとに数や言葉を使って説明する問題はよくできており、日々の取り組みの成果と捉えます。一方、下記のように、提示された資料(グラフ)を読みとる基礎的な問題に課題がありました。今回の結果を参考として、今後、iPadなどデジタルツールを活用した授業などを通して、より一層、授業改善を図ってまいります。

【問題】 チャレンジしてみませんか(問題文は一部省略しています)

・6年生が1年生と交流会をしました。その後、1年生に、何がうれしかったかを聞いたアンケートの結果が右の通りです。この中で「いっしょに話ができたこと」は全体の約何%ですか。記号を書きましょう。

㊶約20% ㊷約30% ㊸約40% ㊹約70%



正解 ㊷ (本校正答率 65.9%・全国正答率 74.9%)

※間違った子のうち、約20%近くの子が㊸と答えていました。目もりの読み間違いの子も多くいたと考えられます。結果の検証を行うと共に、今後の指導に生かしてまいります。

児童質問より(多岐にわたる質問から抜粋して分析を行いました)

【生活・自己肯定感】(当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計%)

設問	本校(%)	全国(%)
自分には、よいところがある	88.4	85.6
将来の夢や目標を持っている	76.7	81.8
人の役に立つ人間になりたいと思う	97.7	95.8
人が困っている時は、進んで助けているか	93.1	92.7
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	93.1	96.2
学校に行くのは楽しいと思うか	76.7	85.7
普段幸せな気持ちになることはどれくらいあるか(「ときどき」までの回答)	95.3	92.5
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	86.0	80.1

- ◆この結果より、大部分の子どもたちが、自己肯定感を高く持ち、周りの人を大切にしながら、幸せを感じて生活できている様子がうかがわれました。しかし一方、20%以上の子が「学校に行くのは楽しい」と思っていないことについては真摯に受け止め、今後より一層、子どもたち一人ひとりに寄り添い、頑張りを認め、積極的に励ますなど、子どもたちの気持ちをより高めていければと思います。ご家庭でもぜひ励ましのお声掛けなど、ご協力をお願いいたします。

【学習に対する意識】(当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計%)

設問	本校(%)	全国(%)
分からないことや詳しく知りたい時に、自分で学び方を考え、工夫することができる	88.4	79.4
自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	69.8	66.4
授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	81.4	77.6
各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った	79.0	73.4
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができた	93.0	85.7
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる	81.4	80.8

- ◆この結果より、子どもたちが、学習に対して高い意識が持てていることがうかがわれました。本校では、子ども達が主体となる授業や自分の考えを深めそれを表現する活動、そして周りとは話し合うなど考えを交流する活動を、積極的に取り入れた授業を推進しています。この結果を、その成果と捉え、今後も引き続き授業研究に取り組んでいきたいと考えております。

【教科に対する意識】(当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計%)

設問	本校(%)	全国(%)
国語の授業の内容はよく分かる	79.0	81.5
国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていた	79.0	78.3
算数の授業の内容はよく分かる	83.7	77.5
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えた	88.4	81.7

- ◆国語・算数について、学習に対する意識を高く持っていることがうかがわれました。授業の内容の理解については、約80%の数値となっていますが、逆にいうと20%前後の児童が困難を感じているという結果を受け、今後もより一層「分かる授業」に取り組んでまいります。

【読書に対する意識】

設問	本校(%)	全国(%)
昼休みや放課後に、本を読んだり借りたりするために、学校図書室にどれくらい行くか(月1回以上)	23.3	34.9
放課後や学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、地域の図書館にどれくらい行くか(月1回以上)	18.6	16.2
平日、授業以外に、1日当たりどれくらい読書しているか(10分以上)	46.6	46.0

- ◆本校では図書室開放(昼休み)や教室での読書、読み聞かせ、押し本紹介など、読書活動を積極的に推進しています。今回の結果を参考にして改めて改善を図ってまいります。一方、全体の約1/3の児童が本を「全く読まない」ことについて本校の大きな課題であると考えています。
- ◆学校全体の読書活動の推進によって、子ども達の意識も高まりつつあります。ご家庭でもぜひ読書習慣の定着についてご協力をお願いいたします。

【家庭での生活について】(当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計%)

設問	本校(%)	全国(%)
朝食を毎日食べている	95.4	93.3
毎日、同じくらいの時間に寝ている	83.7	82.8
毎日、同じくらいの時間に起きている	93.0	90.7
平日、1日どれくらい、パソコンやスマホなどでSNSや動画視聴などを行っているか(2時間以上)	62.8	57.6
平日、家で(塾など含む)1日当たりどれくらい勉強しているか(30分以上)	76.8	79.0
学校が休みの日、家で(塾など含む)1日当たりどれくらい勉強しているか(1時間以上)	41.9	39.0

- ◆上3項目の結果より、ご家庭で規則正しい健康的な生活が送れていることがうかがわれました。「早寝・早起き・朝ごはん」は生活の基本です。今後も何卒ご協力をお願いいたします。
- ◆下2項目の家庭学習に取り組む時間については上記の結果となりました。宿題だけでなく自主学習についての取り組みについても、本校では積極的に推進しております。興味関心を持ったことについて積極的に調べてみたり、まとめたりする活動に取り組んでおりますので、引き続き、ご家庭でもお声掛け(特に学校が休みの日)を何卒よろしくお願い申し上げます。

【ICTに対する意識】(当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計%)

設問	本校(%)	全国(%)
平日、授業以外で1日当たりどれくらいタブレット等のICT機器を勉強に使っているか(30分以上)	39.5	34.6
授業で、PC・タブレット等のICT機器を、どの程度使用しているか(ほぼ毎日)	86.1	43.0
PC・タブレット等のICT機器を使って、情報を整理する(表やグラフなどを使ってまとめる)ことができる	79.0	69.5
PC・タブレット等のICT機器を使って、プレゼンテーション(発表のスライド)を作ることができる	86.1	74.6

- ◆守口市では、一人一台端末(iPad)の活用を推進しており、本校においても、毎日の授業で活用していますが、その成果が現れた結果となりました。今後も積極的に、より効果的な活用を研究してまいります。また、授業以外での自習学習でのiPadの使用も進めています。ご家庭でもお子様のiPadの活用についてぜひ聞いてみていただき、励ましてあげてください。

以上の結果に基づき、本校では今後、以下のように取り組んでまいります

- 国語では、文章や動画、音声における表現の工夫や、その効果を捉える問題に成果が見られた一方で、文章中の言葉を基に考えたことと自分の経験を結び付け、条件に沿って書き始めることに課題が見られました。このことから、今後は、心に残った言葉を選び、「なぜその言葉を選んだのか」を伝えたり、自分の考えや経験と結び付けたりする授業づくりを進めてまいります。
- 算数では、小数や分数など、これまでに学んだ知識や方法を使って解く問題に成果が見られた一方で、図や表から必要な情報を見つけ、その情報を結び付けて考えることに課題が見られました。今後は、答えを求めるだけでなく、「なぜその数や方法を選んだのか」を説明し、考えを深める授業づくりを進めてまいります。
- 問いをもとに、主体的に考え、まわりと考えを深め合う探求的な学習を推進します。(タブレット端末の活用を含む)
- 自学自習力の育成を図ります。(自主的に勉強しようとする意欲を育てます。)
- 学校全体で読書活動を推進します。